

平成31年度事業報告

平成31年4月 1日から

令和2年3月31日まで

一般社団法人 日韓経済協会

目 次

I. 総会	-----	1
II. 理事会	-----	2
III. 諮問委員会	-----	3
IV. 日韓経済人会議	-----	4
V. 日韓新産業貿易会議	-----	8
VI. 青少年交流事業	-----	9
VII. 調査・広報活動	-----	13
VIII. その他事業及び出来事等	-----	15
IX. 会員異動	-----	18

I. 総 会

A. 第7回定時社員総会

第7回定時社員総会は令和元年6月25日、東京都千代田区丸の内2-3-1三菱商事ビルディング4階G-01会議室で開催された。定款規定により佐々木幹夫会長を議長に選出した後、下記議案を審議の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

- | | | |
|--------------|---|--|
| 1. 日 | 時 | 令和元年6月25日(火) |
| | | 開 会 午後3時00分 |
| | | 閉 会 午後4時00分 |
| 2. 場 | 所 | 東京都千代田区丸の内2-3-1
三菱商事ビルディング 4階 G-01会議室 |
| 3. 正 会 員 総 数 | | 72名 |
| 4. 出席正会員数 | | 58名 |
| | | (内 訳) |
| | | 正会員出席者 19名 |
| | | 委 任 状 39名 |
| 5. 議 事 | | |
| | | 決議事項 |
| | | 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件 |
| | | 第2号議案 平成30年度収支決算報告承認の件 |
| | | 第3号議案 公益目的支出計画実施報告承認の件 |
| | | 第4号議案 令和元年度事業計画及び収支予算承認の件 |
| | | 第5号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任承認の件 |
| 6. 報 告 事 項 | | |
| | | (1) 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事委嘱の件 |
| | | (2) 任期満了に伴う顧問委嘱の件 |
| | | (3) 任期満了に伴う相談役委嘱の件 |

Ⅱ. 理 事 会

A. 令和元年度第1回理事会

1. 日 時 令和元年6月6日(木)

2. 議 案

第1号議案 第7回定時社員総会開催の件

第2号議案 第7回定時社員総会付議事項承認の件

(1) 平成30年度事業報告(案)

(2) 平成30年度収支決算報告(案)

(3) 公益目的支出計画実施報告(案)

(4) 令和元年度事業計画及び収支予算

(5) 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

第3号議案 任期満了に伴う諮問委員会副会長及び理事推薦承認の件

第4号議案 任期満了に伴う顧問推薦承認の件

第5号議案 任期満了に伴う相談役推薦承認の件

B. 令和元年度第2回理事会

1. 日 時 令和元年6月25日(火)

2. 議 案

第1号議案 会長、副会長、専務理事及び常務理事選定の件

C. 令和元年度第3回理事会

1. 日 時 令和2年3月26日(木) 書面表決

2. 議 案

第1号議案 令和2年度事業計画(案)の件

第2号議案 令和2年度収支予算(案)の件

Ⅲ. 諮問委員会

第7回 諮問委員会

1. 日 時 令和元年12月17日(火)
17:00～19:00
2. 場 所 三菱クラブ
3. 出席者 諮問委員会理事会社 7社
4. 議 題 (活動報告)

(1) ビデオ上映

- ① 第51回日韓経済人会議・日韓交流おまつり2019 in Tokyo
- ② 第5回在韓日本企業のCSR活動(学生インターン2019)
- ③ 第26回日韓高校生交流キャンプ(報道)

(2) 財団事業について

- ① 次世代経営者交流(11月栃木)
- ② 中小企業ビジネス促進事業

IV. 日韓経済人会議

第51回日韓経済人会議は、9月24日、25日の二日間、大韓民国ソウル特別市（ロッテホテルソウル）に於いて開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下106名、韓国側からは金 鉦団長以下203名が出席して開催された。

会 場：LOTTE HOTEL SEOUL 2FクリスタルボールルームⅠ・Ⅱ

主 題：「激動の世界経済における日韓協力」

〔2019年9月24日（火）〕

14：30～15：15 開会式

14：40～14：50 団長挨拶

■韓国側団長：金 鉦（キム・ユン） （社）韓日経済協会会長

□日本側団長：佐々木 幹夫 （一社）日韓経済協会会長

14：50～15：20 来賓挨拶

■韓国側来賓：兪 明 希（ユ・ミョンヒ） 産業通商資源部通商交渉本部長

□日本側来賓：長嶺 安政 在大韓民国日本国特命全権大使

15：45～16：20 基調講演

■韓国側講演：孫 京 植（ソン・キョンシク） 社団法人韓国経営者総協会会長

C Jグループ会長

□日本側講演：古賀 信行 一般社団法人日韓経済協会 副会長

『社会課題の解決に向けて』

16：00～16：20 休憩

16：20～16：40 特別講演

柳 明 桓（ユ・ミョンファン） 金&張法律事務所顧問／元外交通商部長官

『北朝鮮の改革・開放と韓日協力』

16：40～17：00 日韓新産業貿易会議の報告・提言

■韓国側報告：安 宗 原（アン・ジョンウォン） チェアマン

□日本側報告：麻生 泰 チェアマン

17：00～17：05 協会活動の一般経過報告

18：00～19：30 共同主催レセプション

〔2019年9月25日（水）〕

9：00～11：30 第1セッション 「韓日関係の新しい飛躍！」

■コーディネーター：廉 載 鎬（ヨム・ジェホ） 元高麗大学校総長

■韓国側発表①：李 佑 光（イ・ウグァン） 株式会社農心 社外理事

『日・韓企業の第3国市場協力2.0』

□日本側発表①：向山 英彦 株式会社日本総合研究所 上席主任研究員

『今後どう変化する日韓経済関係とサプライチェーン

－韓国企業のベトナムシフト、日本の輸出管理強化の影響』

■韓国側発表②：張 濟 國（チャン・ジェグック） 東西大学校総長

『日韓関係：最近の動きと今後の課題』

□日本側発表②：森山 朋之 ソウルジャパンプラブ理事長・韓国三井物産株式会社代表理事社長

『韓国に於ける日本企業の活動状況～現場からの報告～』

11：45～13：10 昼食会

－団長団・新産業貿易会議チェアマン：（共同声明審議／両国財団連絡協議会）

……（36F ベルビュースイート）

－団 員：

……（2F クリスタルボールルーム）

13：20～15：40 第2セッション 「韓日共通課題解決の実現！」

□コーディネーター：小針 進 静岡県立大学 教授

■韓国側発表①：李 洙 勳（イ・スンフン） 慶南大学校教授・元駐日韓国大使

『最近の韓日関係』

□日本側発表①：奥田 聡 亜細亜大学 アジア研究所 教授

『日韓経済関係の現状と今後－共通課題に取り組むために－』

■韓国側発表②：徐 錫 崇（ソ・ソクスン） 財団法人韓日産業・技術協力財団 専務理事

社団法人韓日経済協会 常勤副会長

『The Way to go!』

□日本側発表②：全 ユミ（チョン・ユミ） ケリーサービス有限公司 代表理事

『第4次産業革命時代 人材動向及び日韓協力人材育成』

15：40～16：00 休憩

16：00～16：20 閉会式 共同声明採択 / 両国団長挨拶

16：30～17：00 共同記者会見（両国団長） 2Fエメラルドルーム

共同声明

「激動の世界経済における日韓協力」

第51回日韓経済人会議は、2019年9月24日と25日の両日にわたって大韓民国ソウル特別市において開催され、日本側からは佐々木幹夫団長以下106名、韓国側からは金鉦団長以下203名が参加した。

昨年5月、東京で成功裏に開催された記念すべき第50回日韓経済人会議以降、国際情勢は大きく揺れ動いている。欧州では英国のEU離脱（BREXIT）問題が長引き、アジア太平洋地域では米中の通商摩擦がサプライチェーンの連関に負の影響を与え始めている。また、中東においては、最近、地政学的リスクが一層高まり、日韓のエネルギー資源輸入にも大きなリスクを投げかけている。

また昨今、日韓両国の政治・外交関係は出口の見えない極めて厳しい状況が続いており、経済面においても、文化・スポーツ交流等の分野においても、残念ながら日韓関係は緊張の連続である。我々は、これまで両国官民の先達が築き上げてきた互恵的、良好な経済関係が危機に瀕していることを深く憂慮する。

我々日韓両国の経済人は、このような厳しい時期にこそ、これまで発展させてきた経済交流の紐帯が切り離されてはならないとの信念を確認した。両国を繋ぐ架け橋として、両国経済界は未来志向の原点に立ち返り、潜在的な成長力と補完関係を極大化する方策を講じなければならない。

我々はこうした認識を共有し、昨24日と本日25日の両日、「激動の世界経済における日韓協力」をテーマに、真摯に未来志向の両国経済関係について討議した。共通する社会的課題を踏まえつつ、両国経済界の協力により諸問題を解決し、ボーダーレスな協業拡大により新たな飛躍を目指すべく、忌憚なく意見を交わした。

一方、アジアの安定、そして発展に向けては、中軸となるべき日韓両国の政治・外交とビジネス環境が良好に維持されることが重要であり、その為には我々経済界が民間の立場で経済・人材・文化交流を通じて、両国経済界の信頼関係と両国民のスムーズな往来が醸成されるよう活動していかなければならないとの決意に至った。

他方で、日韓の互恵的な経済関係の維持・発展のためには、政治・外交関係の修復が必要であるとの認識を共にした。

両国経済の相互発展を図るため、政治・外交関係が両国企業の協力の障害とならないよう、我々は両国政府の対話の促進により新たな日韓関係の地平が拓かれるための適切な措置が講じられることを強く要望する。

第51回日韓経済人会議で両国の経済人は、日韓のより明るい未来と発展のために、下記のような課題に関して連携して推進していくこととした。

記

1. 第3国における日韓協業の継続的推進
2. 両国の雇用問題、人材開発等に関する共通課題の解決に向けた協力
3. 経済・人材・文化交流の持続・拡大
4. 次世代ネットワーク・地域交流の活性化等、日韓の友好的インフラの再構築
5. 東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けた協力

なお、次回の第52回日韓経済人会議は2020年に日本において開催することとした。

2019年9月25日

日本側代表団団長	佐々木幹夫
韓国側代表団団長	金 鉦

V. 日韓新産業貿易会議

第 21 回日韓新産業貿易会議開催

日韓経済人会議に先立って開催する専門会議として、時宜にあわせたテーマ、共通課題などについて事前に討議を進め議論を深める目的で、毎年、日韓交互に開催している。本年度は3月に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって両国間の渡航も制限される事態となったため、開催を見送った。

なお、本会議の位置づけを踏まえ、開催に向けた講演予定稿など各種準備を取りまとめ、「準備報告書」を作成した。

【予定していた開催計画】

1. 開催日：2020年3月12日(水) 18:30～20:00 (レセプション)
3月13日(木) 09:30～15:30 (会議)

2. 場 所：日本・東京都 ザ・オークラ東京 プレステージタワー

3. テーマ：『未来を切り拓く日韓協力 -2020 SDGs 新時代-』

第51回経済人会議の共同声明を受け継ぎ、引き続き日韓関係改善を両国政府に求めつつ、独自の交流や協調など新たな道を模索する。日韓に共通する課題は、国連サミットで合意されたSDG's (Sustainable development Goals) に重なり、貧困や飢餓、健康・教育、エネルギー問題、地球環境などは両国にとっても最重要課題。

第1セッション：

「成長を生み出す日韓協力 -新しい経済連携の創造-」

第2セッション：

「未来を創り出す人材・文化交流 -2020 新たなSTART-」

4. その他：2020年1月31日付にて開催案内を行い参加者の募集を開始。
同 年 2 月 25 日付にて開催中止を連絡、協会 HP に掲示。

VI. 青少年交流事業

1. 青少年交流事業の実施状況

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」実施状況

- ① 「未来志向の日韓関係」構築の基礎である人的交流の一環として、次世代を担う若者たちの草の根レベルの交流促進を目指し、2004年1月から「日韓高校生交流キャンプ」事業を開始した。これまで16年間で26回開催、延べ2,350人を超える交流実績となり、着実に成果を重ねて協会会員および参加学校、開催地域の理解と協力が広がりつつある。
- ② 運営面では2006年度から2007年度までは、本事業の趣旨に賛同いただいた6社・団体の協賛金・助成金により運営し、2008年度から2011年度までは、日本政府の「21世紀東アジア青少年大交流計画事業(JENESYS：2007年度から2011年度の5年間実施)」に登録され、(公財)日韓文化交流基金委託事業の形態で資金を得て運営した。2012年度は、日韓経済協会の剰余金と韓国中小企業庁の支援金を合わせて、これまで通り参加費無料で運営した。2013年度から2019年度までは、JENESYSの後継として実施された「JENESYS2.0」の一環として、毎年(公財)日韓文化交流基金の企画競争公募の審査基準に合格し、その業務委託金と韓国産業通商資源部の支援金を合わせて運営、2015年度からは、業務委託金と支援金の他、参加者から10,000～30,000円の参加費を徴収して運営している。
- ③ 本キャンプの最大の特徴は、事業企画を立てるという課題を日韓混成チームに与え、その共同作業により深い交流を体験させることである。この特徴を基本に、回を重ねる度にプログラムの充実を図り、参加校も増えてきている。2019年度の第26回交流キャンプは、韓国ソウルで開催し、日韓両国の高校生が各チームに与えられたカテゴリー別に、「食品」チームは、三養 F&B と東遠 F&B を、「サービス」チームはロッテホテルシグニエルソウルとソウルガーデンホテルを、「観光・イベント」チームはツアー2000 と韓日文化・産業交流協会を訪れ、韓国経済の現場体験を行い、その体験学習を基に、日韓両国の新たな未来へつながる、かつ継続可能な交流を見据えた新ビジネス案を企画・発表した。また、韓国文化体験として、東遠 F&B の鎮川(チンチョン)工場を訪れ、韓国伝統食品のキムチ作りを体験した。
- ④ 今後の課題：本事業の成果・意義を社会的に訴求することで政府の継続的支援を得ていくことが肝要である。

(2) 「日韓学生未来会議」実施状況

- ① 高校生交流キャンプ参加後の更なる交流の継続と発展のため、キャンプ参加学生が自主的に日韓両国でOB・OG会（JKSFF/KJSFF）を発足させ、2006年度から活動を始めた。日韓各々の団体が勉強会・討論会・交流会等の開催、高校生交流キャンプへの運営ボランティア参加、他機関が開催する交流行事への参加や情報交換等、毎年活発な活動を行っている。
- ② 両国のOB・OG会活動の最大の交流事業として、両国学生が毎年、日韓に関わるテーマを一つ決め、事前学習・発表・討論を行う「日韓学生未来会議」を日韓交互に開催している。2019年度は「日韓合同のビジネスプランを考える～産業都市釜山～」をテーマに、韓国釜山市で第14回目を開催した。当協会では、学生の自主性を尊重しつつも、安全かつ効果的に会議を実現するため、交流会の企画・運営に関して積極的に助言し、渡航・滞在等の支援を行っている。
- ③ 高校生交流キャンプと同様に、運営面での継続支援を確保するための対応が重要な課題である。

2. 青少年交流事業の実施実績

(1) 「日韓高校生交流キャンプ」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第10回～第18回、第20回～第26回)
- ・主催：日韓経済協会、韓日経済協会
- ・後援：外務省、国土交通省
韓国産業通商資源部
- ・開催実績：

	場所	日程（交流期間）	日本側参加者	韓国側	参加者計
第1回	日本・東京	2004年1月16日～20日	62人(4校)	50人	112人
第2回	日本・東京	2004年7月26日～30日	20人(10校)	52人	72人
第3回	韓国・ソウル	2004年8月18日～22日	46人(7校)	48人	94人
第4回	日本・東京	2005年2月11日～15日	64人(19校)	54人	118人
第5回	日本・東京	2005年8月6日～10日	44人(17校)	46人	90人
第6回	日本・東京	2006年2月9日～13日	59人(17校)	47人	106人

第7回	韓国・ソウル	2006年8月4日～8日	38人(16校)	49人	87人
第8回	日本・幕張	2007年2月9日～13日	42人(17校)	38人	80人
第9回	日本・東京	2007年8月5日～9日	34人(20校)	41人	75人
第10回	韓国・一山	2008年2月10日～14日	46人(17校)	39人	85人
第11回	日本・東京	2008年8月3日～7日	44人(25校)	44人	88人
第12回	韓国・ソウル	2009年2月1日～5日	50人(34校)	50人	100人
第13回	韓国・龍仁	2009年7月28日～8月1日	44人(31校)	44人	88人
第14回	日本・大阪	2010年2月2日～6日	39人(24校)	49人	88人
第15回	韓国・ソウル	2010年8月3日～8月7日	50人(40校)	49人	99人
第16回	韓国・ソウル	2011年2月8日～2月12日	50人(39校)	50人	100人
第17回	韓国・ソウル	2011年8月2日～6日	49人(44校)	47人	96人
第18回	日本・大阪	2012年1月31日～2月4日	50人(32校)	50人	100人
第19回	韓国・ソウル	2012年7月24日～28日	50人(40校)	50人	100人
第20回	日本・大阪	2013年7月28日～8月1日	50人(39校)	50人	100人
第21回	日本・川越	2014年7月27日～7月31日	50人(39校)	50人	100人
第22回	韓国・ソウル	2015年7月27日～7月31日	40人(34校)	40人	80人
第23回	日本・南三陸 &仙台	2016年7月29日～8月3日	40人(31校)	40人	80人
第24回	韓国・平昌	2017年7月24日～7月28日	40人(34校)	40人	80人
第25回	日本・広島	2018年7月29日～8月2日	40人(34校)	35人	75人
第26回	韓国・ソウル	2019年8月5日～8月9日	30人(30校)	30人	60人
延べ参加人数			1,171人	1,182人	2,353人

(2) 「日韓学生未来会議」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
(第3回～第6回及び第9回～第10回)、その他の回は自主開催
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程(交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・幕張	2007年2月9日～12日	14人	10人	24人
第2回	韓国・ソウル	2008年2月12日～16日	6人	15人	21人
第3回	日本・東京	2009年2月9日～13日	17人	16人	33人

第4回	韓国・釜山	2009年8月3日～7日	20人	20人	40人
第5回	日本・京都	2010年8月9日～13日	17人	20人	37人
第6回	韓国・ソウル	2011年8月8日～12日	17人	19人	36人
第7回	韓国・ソウル	2012年8月6日～10日	14人	14人	28人
第8回	日本・大阪	2013年8月6日～10日	14人	15人	29人
第9回	韓国・大田	2014年8月5日～9日	14人	14人	28人
第10回	韓国・ソウル	2015年8月6日～10日	12人	8人	20人
第11回	日本・福岡	2016年8月18日～22日	14人	14人	28人
第12回	韓国・龍仁	2017年8月7日～11日	21人	16人	37人
第13回	日本・長崎	2018年8月5日～10日	22人	20人	42人
第14回	韓国・釜山	2019年8月18日～23日	18人	16人	34人
延べ参加人数			220人	217人	437人

(3) 「Visit & Feel JAPAN Tour」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：日韓経済協会
- ・後援：外務省、駐日本大韓民国大使館、SJC (ソウルジャパンプラブ)
- ・協力・協賛：三菱商事、アサヒビール、JTB、JKSFF・KJSFF
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	日本・関東	2017年2月13～18日	交流会のみ 参加	20人	20人
第2回	日本・北海道・青森	2018年1月30～2月4日	—	20人	20人
延べ参加人数				40人	40人

(4) 「日韓交流の広場」開催実績

- ・事業形態：21世紀東アジア青少年大交流計画 [(公財)日韓文化交流基金委託事業]
- ・主催：JKSFF、KJSFF (日韓各々の高校生交流キャンプOB・OG会組織)
- ・後援：日韓経済協会
- ・開催実績：

	場所	日程 (交流期間)	日本側	韓国側	参加者
第1回	韓国・ソウル	2011年12月23～25日	73人	54人	127人
延べ参加人数			73人	54人	127人

Ⅶ. 調査・広報活動

韓国関連の情報・資料を会員宛に提供
～定期刊行物（日報・週報・月報）の発行～

1. 日報の配信

韓国メディアのニュースが近年は多様化し、かつ、各メディアによる日刊の日本語版のウェブ配信数も増えている。韓国情勢と動向をリアルタイムに選別し情報として提供するため、韓国の通信社や新聞各社の日本語版から精選した記事を日報ベースにて随時メールで配信した。

2. 週報『日韓経済協会通信』の配信

韓国の政治経済動向・経済指標・社会文化・一般トピックス等のニュースを韓国の新聞記事や韓国政府機関HPから選別し、翻訳・校正・編集した情報を週報ベースで作成し配信した。

協会の客観的視点を基軸に韓国情勢をウォッチし、韓国語記事の内容チェックも行い、読みやすい日本語訳にするよう努めた。

なお、週報はEメールにて原則、毎週木曜日に会員宛てに送付した。

一方、当該週に翻訳した記事のうち週報に未掲載の記事はタイトル一覧を週報末尾に記載し、会員からの要望に応じ個別に要望記事をEメールする対応も行った。

2019年度は、2019年4月4日付け第1349号から2020年3月26日付け第1396号までの48週分を発行した。

3. 月報『協会報』の発行

協会報の主な内容は次の通り。

[**経済一般動向**]では、韓国の最新動向に沿った質感のある関連記事を、主として韓国の経済週刊誌（複数）から選択・翻訳したうえ情報として提供した。週報とは異なり、話題性の高いテーマに関するまとまった記事の掲載に留意した。

[**JKEレポート**]では、1カ月単位で「最近の韓国情勢」と「最近の日韓企業間の動向」を～報道日誌～として、多数の日韓メディア報道の中から主たるものを選び、日々の報道を整理して時系列的に掲載した。

[**資料**]では、韓国の主要な最新統計資料を選択し翻訳のうえ掲載した。

[**協会事業など**]では、協会の各種活動内容を紹介し報告した。

また、協会と共に各種活動を協働している（一財）日韓産業技術協力財団の事業活動も幅広く報告した。

2019年度は、552号（2019年4月号）から563号（2020年3月号）まで月刊で計12冊を発行し、会員会社・関係団体等に配布した。

なお、協会報に掲載した[経済一般動向]の過去1年間の掲載記事一覧は別添の通り。

4. 最近の統計指標で見た経済状況

貿易依存度が高い韓国の2019年実績(暦年)は、輸出5,424億 ドル （前年比10.3%減）、輸入5,032億 ドル （同6.0%減）、貿易収支の黒字は392億 ドル だった。
～上記は産業通商資源部の速報値による～

輸出入を合わせた年間貿易額は2011年に1兆 ドル を超えた。2015年と2016年は1兆 ドル 未達となったが2017年に回復し、2018年が1兆1,405億 ドル 、2019年は1兆456億 ドル を達成した。

一方、韓国銀行発表の2019年の経常収支は600億 ドル の黒字（前年775億 ドル ）で、1998年から22年連続で黒字を継続している。外貨準備高は2019年末で4,088億 ドル （2020年3月末4,002億 ドル ）を保有している。

韓国の実質GDP成長率は2011年以降2～3%台で推移していたが、2019年は2.0%（暫定値）だった。

統計庁発表の若年失業率（15～29歳）は2020年2月に9.0%と依然として高く、若年層の就職難は継続している。また、家計負債は依然として増加が続き、2019年末で1,600兆 ウォン に増加している。いずれも引き続き大きな社会問題となっている。

なお、2020年は新型コロナウイルスの蔓延が世界を揺るがせており（韓国は2020年3月末で感染者9,786人、死者162人と発表）、世界経済のマイナス成長は避けがたく、韓国経済にも厳しい影響を与え過去の経済危機以上の困難を及ぼすと見られている。

Ⅷ. その他事業及び出来事等

1. 第18回韓国商品展示・商談会 G Fair 開幕式

- (1) 日 時：平成31年（2019年）4月9日
- (2) 場 所：東京国際フォーラム 展示ホール E
- (3) 参加者：佐々木会長
- (4) 概 要：韓国貿易協会主催の展示商談会で、当協会も後援団体に名を連ねる。
当日は佐々木会長が開幕式（テープカット）に出席。

2. 南 官杓（ナム・グァンピョ）大使表敬訪問

- (1) 日 時：令和元年（2019年）5月14日
- (2) 場 所：駐日本国大韓民国大使館
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、前田常務理事
- (4) 概 要：令和元年5月ご着任されたことに伴う表敬訪問

3. 日韓親善協会中央会 2019 年年次総会後の懇親会

- (1) 日 時：令和元年（2019年）5月24日
- (2) 場 所：KKR ホテル東京
- (3) 参加者：是永専務理事、内田理事
- (4) 概 要：総会後の懇親会に参加し、第3国に於ける日韓連携、青少年交流事業の紹介とともに、「体を張って頑張っている若き企業人たち、交流の先頭になっている高校生たちの活動に水をさすことのないよう環境整備することが私たち大人の責任」と挨拶。

4. 第27回日韓フォーラム

- (1) 日 時：令和元年（2019年）8月21日～23日
- (2) 場 所：韓国 ソウル特別市龍山（ヨンサン）区 グランドハイアットソウル
- (3) 参加者：是永専務理事、前田常務理事
- (4) 概 要：日韓首脳会談に基づき設置された、民間レベルの政策協議のためのフォーラム。厳しい日韓関係を踏まえ、今後の関係の再構築と両国を取り巻く安全保障や通商などの課題について、忌憚なく意見を交換。

5. 日韓交流おまつり 2019 in Seoul （第15回）

- (1) 日 時：令和元年（2019年）9月1日
- (2) 場 所：韓国 ソウル特別市江南（カンナム）区 COEX 展示場
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事
- (4) 概 要：日韓最大の草の根交流行事で、両国の友好増進を目的に開催。
日韓の伝統遊びや着物・浴衣、チマチョゴリ試着などの体験コーナー、アーティスト公演など多様なイベントが催された。

6. 日韓交流おまつり 2019 in Tokyo (第11回)

- (1) 日 時：令和元年(2019年)9月28日～29日
- (2) 場 所：日比谷公園
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事、内田理事、
金 侑貞青少年交流センター長
- (4) 概 要：日本と韓国が共に作り上げるという意味から、2009年から東京でも開催。好天に恵まれたこともあって7万2千人もの方が来場し、体験イベントやステージ、韓食を楽しんだ。

7. 開天節(韓国建国記念日)レセプション

- (1) 日 時：令和元年(2019年)10月3日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、前田常務理事、内田理事
- (4) 概 要：「開天節」を記念する韓国大使館主催の国慶日レセプション

8. 第55回日韓・韓日協力委員会合同総会

- (1) 日 時：令和元年(2019年)11月25日
- (2) 場 所：ホテルニューオータニ
- (3) 参加者：是永専務理事、杉山常務理事、内田理事、
金 侑貞青少年交流センター長
- (4) 概 要：両国間の政治、経済、文化等各分野における民間ベースの交流を通じ親善友好・相互理解を図る目的で設立。合同総会で特別講演として青少年交流事業の概要と参加者の感想文を紹介。

9. 李洛淵(イ・ナギョン) 国務総理昼食懇談会

- (1) 日 時：令和元年(2019年)10月24日
- (2) 場 所：ザ・キャピトルホテル東急
- (3) 参加者：佐々木会長、古賀副会長、麻生副会長、上田副会長、橋本副会長、
十倉副会長、井水副会長、是永専務理事
- (4) 概 要：天皇陛下の即位礼正殿の儀に参列するため来日した際に、李洛淵国務総理主催による日本の経済人との昼食会が催された。「今こそパートナーシップ宣言の精神を思い出す時」との発言など、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われた。

10. 第7回日中韓ビジネス・サミット

- (1) 日 時：令和元年(2019年)12月24日
- (2) 場 所：中国 四川省成都市 世紀城新国際会議中心1号館
- (3) 参加者：古賀副会長(経団連審議員会議長としてご登壇)
是永専務理事、内田理事
- (4) 概 要：日中韓サミットに合わせ、3ヶ国の経済団体(日本経済団体連合会、中国国際貿易促進委員会、大韓商工会議所)の主催で開催。「遠くの親戚よりも近くの他人(隣人)」との発言のほか、三菱商事小林会長から東日本大震災時の日韓協力事例が紹介された。

11. 賀詞交歓会

- (1) 日 時：令和 2 年（2020 年）1 月 17 日
- (2) 場 所：三菱クラブ
- (3) 参加者：佐々木会長、上田副会長、橋本副会長、泉谷副会長、会員各社、
外務省、経済産業省、韓国大使館

12. 駐日韓国企業連合会 韓日経済人交流の夕べ

- (1) 日 時：令和 2 年（2020 年）1 月 30 日
- (2) 場 所：帝国ホテル 桜の間
- (3) 参加者：佐々木会長、是永専務理事、杉山常務理事、千吉良常務理事、
前田常務理事
- (4) 概 要：駐日韓国企業連合会の主催で、例年 1 月に新年会として開催。
当協会からは佐々木会長が挨拶されたほか、高校生交流キャンプを
ビデオで紹介

IX. 会 員 異 動

1. 入会

- | | |
|-----------|----|
| (1) 正 会 員 | なし |
| (2) 協力会員 | なし |

2. 退会

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| (1) 正会員
(会員名)
株式会社スターシア | (退会年月日)
令和2年3月31日 |
| (2) 協力会員 | なし |

3. 令和2年3月31日現在

正 会 員 数	7 1 社
協 力 会 員 数	1 0 社

以上

月刊誌『協会報』の主要標題一覧

2019年4月（第552号）～2020年3月（第563号）

〔特集〕		2019年9月	* 韓国の経済危機の影
2020年1月	* 令和2年 年頭所感（佐々木幹夫）		* 第2四半期の所得分配、2003年の集計開始以来最悪に
〔寄稿〕			* 盛り上がり欠けるアジア航空買収合戦
2019年11月	* 「日韓交流おまつり2019 in Seoul」総評		* 来年度のスーパー予算513兆ウォンが確定
〔経済一般動向〕			* 激変するスマートフォン市場
2019年4月	* 下方修正された韓国の成長率		* 危機のKバイオ…悪材料は山積みだが希望の光も
	* 「出生率1人未満」となった韓国の戦略は？	10月	* 日韓経済人会議、何が論じられたか
	* 粒子状物質、粉塵なのか災難か		* 「R（景気後退）の恐怖」が拡大
	* 現代自動車グループは何処へ		* 物価上昇率マイナスの時代…長い不況の序章か？
	* バッテリー市場、アジアの「ビッグ5」が生き残るのか？		* 人口住宅総調査に見る人口・世帯の変遷史
	* スマートシティへと飛躍する板橋（パンギョ）		* 単身世帯全盛時代、求められるパラダイムシフト
5月	* 6兆7,000億ウォンの追加予算を発表		* 不動産規制のパラドックス
	* 第1四半期、成長率が0.3%マイナスに		* 民間ドローンはどこまで
	* 経済の大黒柱の輸出に赤信号、5カ月連続でマイナス	11月	* 韓国は日本の「失われた20年」と同じ道をたどるのか
	* 韓国経済のLast shot、システム半導体		* 崖っぷちの韓国GM・ルノーサムスン・双龍自動車
	* LCCが占拠した空の道		* 国政監査で明らかになった公的機関の放漫経営
	* 大手航空2社、栄光と屈辱の30年		* 政策金利を1.25%にまた引き下げ
	* LCCの整備問題に対する懸念が増大		* 第3四半期の経済成長率は0.4%
6月	* ファーウェイ発の米中覇権戦争が波及		* 韓国経済は、1%台の低成長局面にすでに突入
	* 結局は庶民の負担で回避されたバスのストライキ		* 2020年の韓国経済を占う10大テーマ
	* 過去の事例に見る急激なウォン安への対処法		* 住宅価格、押さえつけようとすればするほど上昇
	* バイオヘルスを次世代の主力産業に育成	12月	* 金融業界、Techfinのダークホース登場に緊張
	* 無線技術の集約体であるドローンの未来		* ネイバーが魅せられたテクノロジー・スタートアップ
	* 急成長するシルバー産業		* 半導体産業はいつ頃回復するか
	* 大々的な事業の再編に乗り出した大企業		* 本質から逸脱した少子化対策の解決法
7月	* 内憂外患のサムスン電子		* 過去最大級の財政証券発行による後遺症
	* 現代重工業による大宇造船海洋の買収…前途多難		* 統計から見る文在寅政権の不動産市場
	* 10年前の金融危機の影…逆走する経済		* チョンセ制度は消えてゆくのか？
	* 企業の債務返済能力は悪化の一途	2020年1月	* 3年連続で貿易額が1兆ドル突破
	* 国家債務比率の誤解と真実		* 1人当たり国家債務1,400万ウォン突破
	* 韓国を離れる人たち 海外移民シンドローム		* 青年人口減少にもかかわらず失業者は増加
	* 急増する海外不動産投資		* 改革をスピードアップさせているポスコ
8月	* 最低賃金議決その後 経営界は「経済活力向上」 VS 労働界は「最低賃金惨事」		* 広がる「8 to 5」勤務制
	* 韓銀が1.5%に3年ぶりの「サプライズ」利下げ		* 12・16不動産対策の波紋
	* 韓国の輸出・・・7ヶ月連続で減少		* 政府の「景気底打ち論」に対し民間は「一時的反騰」
	* 対日貿易紛争の影響と解決策		* 成長率2%台vs1%台の岐路に立つ
	* 広がりを見せる日本製品不買運動	2月	* 韓国銀行が金融不均衡について報告書を発表
	* 日本の第2次経済報復・・・全面戦争へと拡大か		* 韓国の20代後半の失業者の割合、7年連続OECDトップ
	* 対日経常赤字の黒歴史・・・ ・・・国交正常化後、黒字計上は一度もなし		* SARSより拡大が速い新型コロナウイルス、成長に冷や水
	* アジア航空の買収候補者を大解剖		* ポスト「辛格浩」のロッテが抱える3つの課題
9月	* 部品・素材での脱日本のための5大戦略		* カカオがタコ足式の拡張…系列会社はすでに90社
	* 脱日本に舵を切り始めた大企業		* 人口構造の変動に伴う消費トレンドの変化
		3月	* 「デリバリー全盛時代」いつまで続くか
			* 新型コロナウイルスのバタフライ効果

2020年3月	* 航空産業の支援に乗り出した政府	8月	* 2019年7月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
	* コロナウイルスが揺るがす韓国の産業地図		* 2019年7月の輸出入動向 (産業通商資源部)
	* 昨年の合計特殊出生率が史上最低の0.92人に		* 2019年7月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	* 崩れたサムスの無労組経営、共生か? 競争力弱体化か?		* 2019年7月の雇用統計 (韓国統計庁)
	* S W O T 分析で見る2020年の流通業界	9月	* 2019年7月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
〔J K E レポート〕			* 2019年7月の生産者物価動向 (韓国銀行)
2019年4月	* 最近の韓国情勢～報道日誌～		* 2019年8月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
2020年3月			* 2019年8月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)
2019年4月	* 最近の日韓企業間の動向～報道日誌～		* 2019年8月末の外貨準備高 (韓国銀行)
2020年2月			* 2019年8月の雇用統計 (韓国統計庁)
			* 2019年4～6月期国民所得 (暫定) (韓国銀行)
〔経済人会議〕		10月	* 2019年8月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
2020年1月	* 第52回日韓経済人会議開催案内		* 2019年8月の生産者物価動向 (韓国銀行)
〔資料〕			* 2019年9月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
2019年4月	* 2019年2月の産活動業動向 (韓国統計庁)		* 2019年9月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)
	* 2019年2月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2019年9月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	* 2019年2月の生産者物価動向 (韓国銀行)		* 2019年9月の雇用統計 (韓国統計庁)
	* 2019年3月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	11月	* 2019年9月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年3月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)		* 2019年9月の生産者物価動向 (韓国銀行)
	* 2019年3月の韓国雇用統計 (韓国統計庁)		* 2019年10月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
	* 2019年3月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2019年10月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)
5月	* 2019年1～3月期実質国内総生産 (速報) (韓国銀行)		* 2019年10月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	* 2019年3月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2019年10月の雇用統計 (韓国統計庁)
	* 2019年3月の生産者物価動向 (韓国銀行)	12月	* 2019年7～9月期実質国内総生産 (韓国銀行)
	* 2019年4月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		* 2019年10月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年4月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)		* 2019年10月の生産者物価動向 (韓国銀行)
	* 2019年4月の雇用統計 (韓国統計庁)		* 2019年11月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
	* 2019年4月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2019年11月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)
6月	* 2019年4月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2019年11月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	* 2019年4月の生産者物価動向 (韓国銀行)		* 2019年11月の雇用統計 (韓国統計庁)
	* 2019年5月の消費者物価動向 (韓国統計庁)	2020年1月	* 2019年7～9月期国民所得 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年5月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)		* 2019年11月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年5月の雇用統計 (韓国統計庁)		* 2019年11月の生産者物価動向 (韓国銀行)
	* 2019年5月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2019年12月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
	* 2019年1～3月期国民所得 (暫定) (韓国銀行)		* 2019年(年間、12月)の輸出入動向 (産業通商資源部)
7月	* 2019年5月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2019年12月末の外貨準備高 (韓国銀行)
	* 2019年5月の生産者物価動向 (韓国銀行)	2月	* 2019年12月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年6月の消費者物価動向 (韓国統計庁)		* 2019年12月の生産者物価動向 (韓国銀行)
	* 2019年6月の輸出入動向 (速報) (産業通商資源部)		* 2020年1月の消費者物価動向 (韓国統計庁)
	* 2019年6月末の外貨準備高 (韓国銀行)		* 2020年1月の輸出入動向 (産業通商資源部)
	* 2019年6月の雇用統計 (韓国統計庁)		* 2020年1月末の外貨準備高 (韓国銀行)
8月	* 2019年6月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)		* 2020年1月の雇用統計 (韓国統計庁)
	* 2019年6月の生産者物価動向 (韓国銀行)	3月	* 2020年1月の国際収支 (暫定) (韓国銀行)
	* 2019年10～12月期実質国内総生産 (韓国銀行)		* 2020年1月の生産者物価指数 (韓国銀行)
			* 2020年2月の消費者物価動向 (韓国統計庁)

2020年3月	*2020年2月の輸出入動向（産業通商資源部）
	*2020年2月末の外貨準備高（韓国銀行）
	*2020年2月の雇用統計（韓国統計庁）
	*2019年第4四半期と年間の国民所得（暫定）（韓国銀行）
〔協会事業など〕	
2019年4月	*是永専務 韓国経済新聞インタビュー 「雨降って地固まる」韓日間の企業協力
5月	*（一社）日韓経済協会の主要活動（2019年1月～4月）
9月	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』開催報告
	*『第14回日韓学生未来会議』開催報告
10月	*（一社）日韓経済協会の主要活動（2019年5月～9月）
	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文①
11月	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文②
12月	*是永専務理事が日韓・韓日協力委員会合同総会で講演
	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文③
2020年1月	*第7回 日中韓ビジネス・サミット参加報告
	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文④
2月	*『第26回日韓高校生交流キャンプ』参加生徒の感想文⑤
〔財団活動の紹介〕	
2019年4月	*（一財）日韓産業技術協力財団の主要活動 (2018年10月～2019年3月)
11月	*「在韓日系企業CSR活動支援事業」の報告
2020年1月	*「第5回 日韓次世代経営者交流事業」の報告